「広報おのいろ」配信中！

マチイロ ／ iOS用 android用

自治体の広報紙をPC・スマホで マイ広報紙

Catalog Pocket

※カタログポケットは、多言語への翻訳機能があるため、外国籍の方でも簡単にご利用できます。
翻訳対応言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語）

INDEX

02 ２つの乗り合いサービスの使い方
04 INDEX ／おのまち地域おこし協力隊活動記
05 「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業支援金決定書授与式が行われました／小野町消防団全体訓練を実施
06 Topics ～町のできごと～
07 おのまちごみ減量大作戦！
08 小野小通信
09 小野中通信
10 おのまち認定こども園通信／地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ
11 こども誰でも通園制度 小野町乳児等通園支援事業／「おのまち夏まつり」絵画コンクール
12 財政公表
16 令和７年度人事行政の運営などの状況
19 information ～町からのお知らせ～
20 第23回福島県知事選挙の結果について／11月30日（いいみらい）は年金の日！
21 乳がん検診講演会を実施しました／献血団体・献血推進団体表彰受章について
22 小野町権利擁護センターからのお知らせ／小野町地域包括支援センターからのお知らせ
23 休日当番医・休日当番薬局／公立小野町地方綜合病院からのお知らせ
24 各種健診・教室などの日程
25 食品放射能測定結果／上水道水質検査結果／お誕生おめでとう／おくやみ申し上げます／町の人口・世帯数／町税等納期のご案内
26 米の消費拡大推進ポスターコンクール

おのまち 地域おこし協力隊活動記

～卒隊および入隊のあいさつ～



シュエイーウィン（ルカ） 隊員
担当／国際交流分野
主な活動場所／公民館

こんにちは！地域おこし協力隊のルカです。
２年半前、地域おこし協力隊として小野町に来ました。今年の10月でこの仕事も終わりです。振り返ると、本当にいろいろなことがありました。
最初は、地域のお仕事がどんなものか具体的にイメージできていませんでしたが、ここで暮らしながら働く中で、だんだん実感がわくようになりました。大変なことや人間関係の難しさもありましたが、最後まで仕事をやり遂げることができて、しっかり達成感を感じています。
ここでの生活は、私を成長させてくれました。自分で考えて行動する力がつき、これからの目標についてもじっくり考えることができました。すっきりした気持ちで小野町を離れます。町の皆さん、これまで本当にありがとうございました。次のスタートに向かって頑張ります！



濵尾 柚月（はまおゆつき） 隊員
担当／関係交流人口分野
主な活動場所／まちづくり推進室

10月から地域おこし協力隊に着任しました濵尾柚月（はまおゆつき）と申します。
主な活動はSNSなどを活用して行う情報発信や移住・定住に関わる業務です。いわき市出身で、いわき市以外で生活するのは初めてでとても緊張しています。２年ほど前に職業訓練校にてWebデザインについて学び、関連する資格を取得しました。ドライブや観光などで何度か訪れていて親しみのある小野町でこの経験を生かしたいと思い、地域おこし協力隊に志望しました。
小野町についてよく学び、インスタなどのSNSで小野町の魅力をしっかり全国に発信し、小野町に関わりたいと思ってもらえるような活動をしていきたいと考えています。さらに移住・定住の業務でも、より多くの人が小野町に住みたいと思えるように力を尽くします。町民の皆さんとも協力し合い、小野町を盛り上げるよう努めてまいりますので、これからよろしくお願いします。

「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業支援金決定書授与式が行われました

「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業支援金決定書授与式が９月24日に行われ、公益財団法人Ｂ＆Ｇ財団の朝日田常務理事から町長に支援金決定通知書およびロゴパネルが手渡されました。

本事業では、同財団から３年間で総額6,500万円の支援を受け、災害発生時の緊急対応に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベルやダンプ、救助艇などの機材配備に加え、人材育成のための重機操作研修などが実施されます。

今後は本支援金を活用し、地域防災力の向上を図るとともに、他自治体との災害時相互応援協定の締結など支援体制づくりに取り組みます。



小野町消防団全体訓練を実施

防災力向上と消防団の技術向上を目的に、小野町消防団全体訓練を10月18日、小野運動公園で実施しました。この訓練は、田村消防署小野分署に協力をいただき、今年度Ｂ＆Ｇ財団による防災拠点設置事業の助成を受け配備したボックスウォール（止水板）やその他資機材の運用方法の確認、車いす利用者などの搬送方法を学ぶ訓練など、全６種類の訓練を実施しました。

近年、災害が激甚化するなか、いざという時に対応できるよう今後も訓練をかさねていきます。


ボックスウォール設置訓練



資機材運用訓練


放水訓練


図上訓練


搬送訓練

第22回町民ゴルフ大会開催

第22回町民ゴルフ大会が９月13日に宇津峰カントリークラブで開催されました。

大会は、一般・シニア・レディースの３部門で行われました。

当日は71人の方に参加いただき、健康増進と町民相互の親睦を図ることができました。

成績は次のとおりです。

（敬称略）

一般の部	優　勝	根本　裕一
	準優勝	宗像　武利
	第３位	吉田　久利
シニアの部	優　勝	西牧　裕司
	準優勝	村上　　一
	第３位	草野　幸雄
レディースの部	優　勝	門脇　恵美
	準優勝	草野　裕子
	第３位	柴田　恵子



熊本地震被災地へ善意の寄付

■小野町商工会から９月18日に熊本地震へのご寄付をいただきました。
寄付金は長久保勝男商工会長から「熊本地震への復興に役立ててほしい」と、町長に手渡されました。



■令和８年７月28日に発生した熊本地震に対する義援金の受け付けを町内公共施設で行いました。皆さんのご協力により、下記のとおり義援金をいただきました。

〇義援金総額：214,948円

いただいた寄付金や義援金は日本赤十字社福島県支部を通じて被災地へ届けられます。このたびのご厚志に対し、心よりお礼申し上げます。

小野町教育委員会教育委員に村上麻美（あさみ）さんを任命

小野町教育委員会教育委員の任期満了に伴い、村上麻美さん（小野赤沼）が選任（再任）されました。

任期は令和８年10月１日から令和12年９月30日までの４年間となります。

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定する機関であり、その委員は議会の同意を得て町長が任命します。



村上麻美さん（小野赤沼）を再任

全国大会出場者へ激励金交付

全国大会の出場者に対し、10月７日に役場で小野町文化・体育振興基金から激励金が贈られました。

交付時には、町長から「小野町の代表として、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、悔いのないように頑張ってください」と激励の言葉が送られました。皆さんのご活躍をお祈りします。

大会への出場者は次のとおりです。（敬称略）

■**第80回国民スポーツ大会（柔道少年男子団体）**
田村高等学校　３年　村上梓竜

■**第25回全国障害者スポーツ大会　陸上競技**
福島パラ陸上協会　　村上麻莉奈

■**第38回全国健康福祉祭埼玉大会（ねんりんピック）**
・ゲートボール競技　仲町チーム
（山田季平・折笠昭典・近内治・先﨑三子・吉田千代）
・水泳競技　荻野治美



おのまちごみ減量大作戦！

～ごみのおはなし～

これまで「資源とごみの分別」についてご紹介してきました。
それでは、出されたごみや資源物は、その後どのようになっているのでしょうか?
今月から「資源物やごみのその後」について、ご紹介します。

◆小野町のごみ

私たちが、毎日なにげなく捨てているごみは、小野町全体でも大変な量になります。

小野町に限らず人口減少によりごみの総量は減少傾向にあるものの、１人当たりのごみの排出量を見ると、ほぼ横ばいから微増傾向となっています。

これらのごみも、ごみとして捨てられる前は、貴重で限りある資源をもとにして、多くの人々の努力と労力で作られ、運ばれてきた品物（商品）です。

ごみとなってからも、燃やしたり、再生したり、埋め立てられたりと、適正な処理を行い処分するためには、多くの人々の労力と費用（お金）がかかっています。

小野町のごみの量

年間 **2,588** トン
（1人あたり306.4kg）

３人家族の家庭では、なんと年間１トン近いごみを出したことになります。
（令和７年度）

ごみ処理に要した経費

年間 **１億７千226万円**
（1人あたり20,393円）

３人家族の家庭では、61,179円にもなります。
（令和７年度）







◆不法投棄とポイ捨て

ごみを正しく捨てないで、道路脇や空き地に捨てること（不法投棄）をすれば、さらに回収のための費用や、適切に分別する費用など、余計な費用がかかるだけでなく、地域の自然環境に悪影響を及ぼし、皆さんの住む町の環境汚染に繋がります。

町では、「ポイ捨て等防止指導員」３人を、また福島県では「産業廃棄物不法投棄監視員」１人を委嘱し、定期的に町内を巡回していただいています。しかしポイ捨てや不法投棄はなくなりません。これは大きな社会問題になっています。

ポイ捨て・不法投棄は、絶対“しない、させない、許さない”

「資源とごみ分別の手引き」を次の場所で配布しています。どうぞご利用ください。（英語・ベトナム語版もあります。）
・役場窓口　　・多目的研修集会施設
・子育て支援課　・ふるさと文化の館
・町民体育館

資源とごみの分け方についての、より詳しい情報は町公式ウェブサイトでもご覧になれます。

小野町　ごみの出し方

問町民生活課　☎72-6933

小野中通信
junior high school

田村支部中体連駅伝競走大会、頑張りました

９月３日の田村支部中体連駅伝競走大会では、男子９位、女子５位となりました。雷雨のためスタートが３時間遅れましたが、全員がチームのために最後までしっかり走り切りました。「チームのために、１秒でも速く、１人でも多く抜いて」という部長の言葉からも、一人ひとりの頑張りが伝わってきました。今回の経験をこれからの目標に生かしてください。夏休みから本当によく頑張りました。お疲れさまでした。





職場体験、お世話になりました（２年生）

９月10日、２年生が町内外19の事業所で職場体験を行いました。受け入れ、ご指導いただいた各事業所の皆さん、ありがとうございました。生徒たちは、感謝の気持ちと誠意をもって、意欲的に活動していました。今回の経験を生かし、将来の夢を育んでほしいと思います。これからも「まじめにこつこつと」頑張りましょう。





福島民報社出前講座（３年生）

９月15日、３年生を対象に福島民報社の出前講座「作文・小論文講座」を実施しました。「新聞の見出しは『究極の要約』」「辞書を使い、自分で調べることが大切」「気持ちを伝えるために語彙力が大切」と教えていただきました。さらに小論文の書き方を学び、朝刊を読んで実際に小論文を書き、発表しました。作品は今後、福島民報の「みんなの広場」に掲載予定です。楽しみですね。




田村支部中体連新人大会、小野中生が大活躍

９月16日から18日まで大会が行われ、野球部、ソフトボール部、男女バレーボール部、柔道部（女子団体）が１位、サッカー部、剣道部（男子団体）が２位、卓球部（女子団体）が３位となりました。新チームの活動は始まったばかりです。さらなる高みを目指して、練習に励みましょう。





＜お知らせ＞
学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」（https://ono.fcs.ed.jp/）に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

小野小通信
primary school

休み時間に予告なしの避難訓練

今年度２回目の避難訓練を９月４日に行いました。今回は、突然の災害に対しても落ち着いて行動できるようにするため、訓練自体を児童に知らせない「予告なし」の避難訓練を行いました。
２校時目が終わった休み時間、子どもたちが校庭や体育館、教室、廊下などで過ごしている中、急に地震速報の音が全校放送で流れ、訓練開始となりました。ほとんどの子が、静かに放送に耳をすましながら、素早く自分の身を守る行動をしたり、駐車場に避難したりしました。
また今年度から小野小では、毎月11日を「ＢＯＳＡＩ」の日と定め、防災に関する取り組みを各学年の実態に応じて行っています。地震、台風、火事、雪などに対する防災について考えることで、児童が防災意識を高め、自分で適切に判断し、行動できるように全校で取り組んでいきます。





福島工業高等専門学校による出前講座（５年）

福島工業高等専門学校の先生や学生の皆さんが９月15日に来校し、５年生を対象にした出前授業が行われました。これは、小野町と福島高専との連携協力に関する協定書をもとにした事業で、児童が科学実験や科学実証を経験し、科学的な考え方や表現力を身につけるものです。
今回のテーマは、「防災・減災を学ぼう」です。福島高専の皆さんによるスライドや模型による分かりやすい説明、津波のＶＲ体験などを通して、子どもたちは多くの学びを得ることができました。





フリー参観で多くの保護者が来校

フリー参観が９月14日、15日の２日間にかけて行われました。これは、授業参観とは異なり、保護者の皆さんが、都合のよい時間に各教室の授業を自由に参観できる取り組みです。
普段の授業のほかに、５年生では福島高専による出前講座、福島県スポーツ協会によるスナッグゴルフ教室、３年生では町図書館職員による読み聞かせなどが行われ、多くの保護者の皆さんにおいでいただきました。アンケートには、「普段の子どもの姿が見られた」「親が時間を選んで行けるので助かる」などの回答も見られました。




＜お知らせ＞
学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」（https://ono.fcs.ed.jp/）に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

おのまち認定こども園通信

親子で頑張った運動会！

　こども園の運動会が10月３日、町民体育館で開催されました。今年は総勢91人の子どもたちが参加し、友達と力を合わせての玉入れ・綱引き・年長児童によるリレーなどが行われ、どの競技も白熱した内容となりました。それぞれの学年で行われた個人走では、全員が輝く姿を見せてくれたほか、保護者競技では、子どもたちが一生懸命応援する中、かっこいい姿を見せてくれました。
　子どもたちは、運動会のために毎日たくさん練習を行いました。家族の人に見てもらえる喜び・うれしさ・達成感を感じられた運動会になったと思います。



地域子育て支援拠点事業（おひさまカフェ）のお知らせ

～友だちを誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後３時まで

実施内容

　おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。（※こども園に在園していないお子さんも利用できます。）
　電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園　☎73-8321

実施内容

月　日	事　業　名	内　　容
12月18日㊍	クリスマス会 （午前９時30分から午前11時30分まで）	こども園のお友達と一緒にクリスマス会を楽しみます。

こども誰でも通園制度

小野町乳児等通園支援事業

～利用のご案内～

　町では、小野町乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を児童館キラッと☆おのので実施しています。
　家庭では得られないさまざまな人との関わりや遊びの経験など、すべての子どもの育ちを応援し、保護者のさまざまな働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を行うことが目的の制度です。年齢が近い友達と遊んだり、育児の悩みを保育士に相談したりすることもできますので、ぜひご利用ください！
　見学もできますので、お気軽に児童館キラッと☆おのにお問い合わせください。



一時預かり事業を利用している友達と一緒に遊んだり、散歩に出かけたりして楽しく過ごします！



小学校の夏休み期間は児童クラブの児童とのほほえましい交流がありました！

利用方法などの詳細はこちらから！

こども誰でも通園制度の詳細はこちらから！

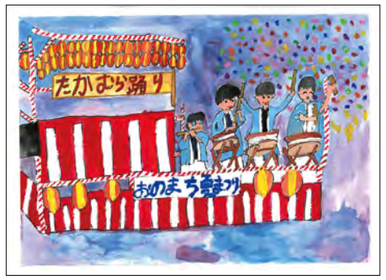
問児童館キラッと☆おの　☎61-4431

「おのまち夏まつり」絵画コンクール

　小野町商工会では、８月15日に開催した「おのまち夏まつり」のイベントの一つとして、小野小学校の児童を対象にした「令和８年度おのまち夏まつり」絵画コンクールを実施しました。
　今年で４回目となる同コンクールには、１年生から６年生まで53点の作品が寄せられ、各学年から優秀賞1点、さらにその中から最優秀賞１点が選ばれました。
　表彰式は、９月18日に小野小学校の校長室で行われ、長久保勝男商工会長から「いつまでも小野町の夏まつりや花火大会を忘れないでください」とあいさつがありました。
　なお来年の夏まつりのポスターには、優秀賞の中から選ばれた作品が使用されます。
　来年も多くの応募をお待ちしています。



受賞者の皆さん



最優秀賞作品

【入賞者一覧】　（敬称略）

最優秀賞	永林美桜姫（３年生）
優秀賞	国府田康聖（１年生）
	長久保匠未（２年生）
	大楽　喜本（４年生）
	吉田　凛香（５年生）
	佐藤　羽太（６年生）